



## 世界に誇る 安心・安全なまちへ



子どもの事故やけがを予防する  
「危険予知トレーニング」



市内を巡回し、安全  
を見守る「青パト」



地域住民が自主的に取り組む  
「防犯パトロール」



交通事故を再現し恐るしさを学ぶ  
「スケアードストリート」



交通事故や犯罪被害に遭わないよう、子どもの登下校を見守る「愛の目運動」



11月14日に実施された再認証記念式典

厚木市セーフコミュニティ推進課 ☎225-28005

認証審査員から「多くの住民が関わりながら取り組んでいるところが素晴らしい」と高く評価された厚木市のSC活動。市では今後も、市民の皆さんと共に、誰もが笑顔で暮らせる環境を広げていきます。

11月14日、厚木市がセーフコミュニティ（SC）の再認証を果たしました。SCは、WHO（世界保健機構）が推奨する安心・安全なまちづくりを進める活動。平成22年に初めて認証を取得した市の取り組みが、再び世界に認められました。

市では、より安心して暮らせるまちにしようと、平成20年から活動をスタートさせました。地域住民と行政が一体となり、交通安全や防犯などの視点からさまざまな対策を実施。市内各地で、登下校する子どもの安全を見守る「愛の目運動」や防犯パトロールなどが展開されています。取り組みの結果、平成20年に1751件発生していた市内の交通事故件数が、平成26年には1075件に減少したほか、市民アンケートで「体感治安が向上している」という結果が出るなど、多くの効果が表れています。

セーフコミュニティの再認証を取得

目次	2面 商店街と地域経済で活性化 市では、皆さんが商売や買い物をしやすい環境づくりを進めています。市内で楽しく買い物をしましょう。	3面 家の管理方法を話し合おう 管理不全の空き家は多くの問題を引き起こします。大切な家が将来放置されないよう予防策を話し合しましょう。	4・5面 生徒がつくる安心・安全 陸合東中学校がインターナショナルセーフスクールの認証を取得。同校の取り組みを紹介します。	6・7面 タウンガイド 催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。
----	---------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------



あつぎ 元気Wave  
CATV 12/1~放送

商店会のイベントにはうれしい特典が盛りだくさん

トピック  
商業振興

# 年末年始は市内で買い物を 商店街と地域経済を活性化

市内の経済を支えているのは、市民の皆さんの消費活動です。市では地域経済を活性化するため、商売や買い物がしやすい環境の整備に努めています。年末年始は何かと物入りな季節。買い物にはぜひ、お近くの店舗をご利用ください。

## 商店街を支援し活性化

市内の小売業の年間販売額は、2031億円（平成24年統計）に上り、厚木市は県央地域で最も大きな商圏を形成しています。しかし、長引く景気の低迷は、地域経済に大きな影響を及ぼしています。市は21年に商業にぎわい課を新設。商店会と連携し、地域経済を支える商業の振興や、買い物がしやすい環境づくりに力を入れています。

26年には、多彩なショッピングや映画館などからなる複合施設「アミューあつぎ」を整備。周辺の通行者が開業前から約3割増えるなど、大きな効果を挙げています。今後は、市街地を再開発する計画も進めています。また、集客力のある魅力的なイベントの開催をはじめ、街を彩るイルミネーションの設置や花を飾る活動への支援など、商店街の活性化に取り組んでいます。

市では、子育て世帯の家計を支援する「子育てパスポートA.Y.U.C.O」を18年から実施。登録店舗で割引や特典を受けられるこの取り組みは、顧客の新規獲得や店舗のPRなどのメリットがあるため、子育て世帯だけでなく商

業者にも喜ばれています。

他にも、市街地の空き店舗を利用した出店希望者への改装費・家賃補助や、店舗経営の相談に応じる専門家の派遣、商店会の販売促進につながる宣伝や景品費用の支援など、商業者への支援を充実させています。

## 市内での買い物がお得

近隣への大型店舗の進出など、市内の消費環境は依然厳しい状況にあります。地域経済は、市民の皆さんの消費が支えています。商業の縮小は身近な店舗の撤退を招き、生活を不便にします。一方、消費活動の活発化は税収の増加につながり、公共サービスの充実という形で皆さんに還元されます。

市商店会連合会の齊藤裕会長（64・中町）は「商業振興には長期を見据えた官民一体の取り組みが必要。私たち商業者は、人が自然に集まるような温か味のある商店街をつくっていきたい」と力を込めます。商店街は地域コミュニティの中心を担う場でもあります。交流を深めながら、お得なセールを利用し買い物を楽しみましょう。

☎商業にぎわい課 ☎25-2840

## '15 あつぎ元気大売り出し

お客様への感謝を込めて、大売り出しを開催します。

- 《期間》12月1~15日
- 《場所》フラッグを掲げた店舗
- 《特典》500円以上お買い上げで、スピードくじにチャレンジ
- 《景品》特賞1万円（333本）など総額733万円分のお買い物券、市制60周年記念品



目印のフラッグ

## 他にもたくさん！ お得な特売セール

商店会名	内容	期間
中央通り名店街 (中町、寿町)	ハトシール10倍サービス・抽選会 シール冊数により商品と交換	12月4~6日 12月5日
元町商工睦会	シクラメンのプレゼントセール 福袋セール (船喜多神社)	12月下旬 12月31日~1月1日
高校通り商友会 (水引、栄町)	「あつぎ元気商品券」 プレミアムセール	12月31日まで
厚木一番街商店街	厚木一番街抽選会	毎月1日と11日
パティオとびお	大売り出し 歳末謝恩福引	12月11~26日

☎市商店会連合会 ☎244-3940 わくわく厚木 検索

## 機関が分散管理する個人情報をつなぐマイナンバー 個人番号カードの申請方法の確認を



通知カードの送付が始まったマイナンバー制度（社会保障・税番号制度）。身分証明書としても使える個人番号カードの取得には申請が必要です。

### ★申請方法★

《郵送》①顔写真を貼り付けた交付申請書に必要な事項を記入②通知カードに同封されている封筒で所定の送付先（地方公共団体情報システム機構）に送付③市からの交付通知書を受け取った後、市役所で受け取り



個人番号カード



《パソコン・スマートフォン》①スマートフォンやデジタルカメラで顔写真を撮影②個人番号申請用ウェブサイトアクセス③必要事項を入力し、顔写真データを添付して送信④市からの交付通知書を受け取った後、市役所で受け取り

### ●注意事項●

- 受け取り時の必要書類 = 交付通知書、通知カード、運転免許証などの本人確認書類、お持ちの方は住民基本台帳カード。
- カード交付時期 = 来年1月以降。申し込み状況によっては、2・3月になる可能性もあります。
- 顔写真 = 無帽、正面、無背景で6カ月以内に撮影したもの（縦4.5センチ×横3.5センチ）。裏面に氏名、生年月日を記入してください。

☎市民課 ☎225-2039 マイナンバー制度はフリーダイヤル ☎0120-95-0178

## ひとまち 元気



松浪理事長と協定書を締結

厚木市長  
小林 幸良

東京五輪・パラリンピックの舞台に、厚木市からアスリートを送り出した。2020年に向けて込み上げる思いは、私一人の夢ではないでしょう。夢を現実のものとするため、多くの五輪選手やメダリストを輩出する日本

体育大学と「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結しました。「体育富強之基」。日体大の建学の精神は、世界レベルの競技者・指導者を育て、全ての人々の心身の健康を育むことだそう。県内初となる協定では、トップ選手による選手強化、子どもたちが高水準の施設や五輪選手に触れられる体験入学、指導者向け講習などで連携します。高齢者の健康寿命を延ばす取り組みにも、力を貸していただきたいと思います。

締結式で松浪健四郎理事長は「厚木市は、世田谷区にも大学を持ったと思ってください」と言ってくださいました。五輪で約120のメダル（団体含む）を獲得している日本が誇るスポーツの名門から援軍を得て、子どもも大人も夢を持ってスポーツに向き合える環境をつくってまいります。

トピック 空き家対策

大切な家が将来、放置されないように

家の管理方法を話し合おう

近年、適切に管理されていない空き家が増加しています。放置された空き家は、庭木が荒れ、倒壊の危険などを伴い、近隣住民の生活に悪影響を及ぼします。大切な家が将来、放置されないよう管理方法などを事前に家族で話し合っておきましょう。

高度成長期に整備された市内の郊外住宅地では、急激に高齢化が進んでいます。核家族が進む今、家の所有者が管理できなくなったときに、親族などが遠方に住んでいることが多く、空き家を適切に管理できないケースが増えています。

空き家を放置すると、荒れた庭木や害虫が近隣住民の生活に悪影響を及ぼします。その他、景観の損失や治安の悪化につながるだけでなく、老朽化した家屋は倒壊する危険性も生じます。

空き家になる前に対策を

市内の家を相続した70歳代の女性（都内在住）は「住まいが遠く長い間管理できていなかった。市から連絡を



長年管理されず庭に雑草が生い茂る市内の空き家

空家等対策協議会の委員を募集

市の空き家対策の基本方針となる空家等対策計画の策定に向けて、協議する委員を募集します。

《対象》市内在住在勤在学で①応募日現在18歳以上②他の付属機関などの委員でない③平日昼間の会議（任期中6回程度）に出席できる④市の議員・職員でない⑤の全てを満たす方3人程度《任期》平成28年2月～（2年間）《報酬》日額7800円（交通費含む）。⑥住宅課や公民館などにある申込書（市ホームページからダウンロード可）に応募動機と小論文（400字程度）を添え、直接または郵送、ファクス、Eメールで、1月4日（消印有効）までに〒243-8511 住宅課 ☎225-2330・FAX224-0621・e-mail=5550@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考、面接あり。

受け確認したらひどい状態で、近隣の方に迷惑を掛けてしまった。今後はしっかりと管理したい」と話します。管理が行き届いていない空き家を適切な状態に戻すには、費用と時間が掛かります。大切な家は、将来、自分の家が放置されたままにならないよう予防することです。家の管理方法などについて、家族で事前に話し合っておきましょう。

見回りや除草作業をシルバー人材センターなどに外注することもできます。市では、空き家の所有者などに対し、適切に管理するよう助言や指導を進めています。27年度中には空家等対策協議会（左欄参照）を設置し、「空家等対策計画」の策定に取り組みます。今後も空き家の適切な管理の促進、予防の強化などに努めていきます。

市の助言や指導を強化

住宅課 ☎225-2330

12月3～9日は障害者週間

障がいについて考えよう

障がい者の自立と社会参加に向け、一人一人が障がいへの理解を深め、人格と個性を尊重し支えあう社会をつくりましょう。

1 障がいへの理解

- ①障がいは誰にでも生じ得るものです。他人事ではなく自分に身近なこととして認識しましょう。②障がいは多種多様です。程度や生じた時期の違いなど、同じ障がいでも一律ではありません。③外見では、分からない障がいもあります。④周囲の理解や配慮によってできることがたくさんあります。

2 日常生活や事業活動での配慮や工夫

- ①困っていそうな場面を見掛けたら「何かお困りですか」と一声掛けて、お手伝いをしましょう。②商品やサービスを提供する際は、どのような配慮が必要か尋ねましょう。③「障がいがあるから」と決め付けず、それぞれの個性や能力を生かすことを一緒に考えましょう。

障がい福祉課 ☎225-2221

知ってる？ 障がいに関するマーク



聴覚障がい者標識 聴覚障がい者が運転する自動車に表示するマーク



白杖SOSシグナル 白杖を頭上50センチ程度に掲げている人に手を差し伸べようという運動を広めるマーク



ハート・プラスマーク 内部障がいや内臓疾患を示すマーク



オストメイトマーク 人工肛門・人工ぼうこうを造設している人(オストメイト)のための設備があることを示すマーク

一人で悩まないで相談を

- 障害者総合相談室ゆいはあと（障がい者基幹相談支援センター） 障がい者が安心して日常生活を営むための総合相談室です。《場所》総合福祉センター2階（平成28年3月までは4階）☎ゆいはあと ☎225-2904・FAX295-3410
- 障がい者相談支援センター 「ゆいはあと」と同じように相談が受けられます。《場所》ハートラインあゆみ（中町4-6-11） ☎259-5713・FAX259-5714 厚木精華園「ここから」（鳶尾4-9-18） ☎280-4410・FAX241-2888 ミュー「わたしの夢」（戸室3-17-11） ☎205-4026・FAX205-4027

障がい者の手づくり製品展示・即売会



市障害者福祉事業所連絡会と協働し、市内の事業所などで働く障がい者の手づくり製品の展示・即売会を開催。《日時》12月7～9日 10時～14時30分 《場所》市役所本庁舎正面玄関脇 売り上げは、障がい者の生活支援につながります。



あいさつをしたら葉(緑)を、誰かを笑顔にしたら花(黄)を、誰かに親切なことをしたら実(赤)を「いじめゼロの木」に張り付ける



整備されたランニングコースを元気に走る生徒たち

**学校全体で意識を共有**

「安心して学校生活を送るには、いじめや暴力のない環境が絶対に必要」と力説するのは生徒会長の津田鷹秀さん(3年)。「各クラスの結束が強くなれば、みんなが仲の良い学校になるはずだ」と思いました。と力強く話します。生徒たちはいじめをなくす方策や反省点、これらの目標などについて、熱心な話し合いを重ねてきました。その結果「いじめをしない。見て見ぬふりをしない」と宣言・署名し、リボンを身に付ける「オレンジリボン運動」を展開。さらに、誰かに親切に

**学校全体で意識を共有**

**データを収集し改善**

安心・安全な学校にするためには何が必要か。初めに生徒で話し合い、さらに教職員、保護者、地域住民を交えて繰り返し議論をしました。浮かび上がったのは「校内でのけが多い」「いじめや暴力がある」「交通安全や防災・防犯への意識が低い」といった課題でした。

**データを収集し改善**

「小学校の取り組みをもっと発展させたい」「中学校でも安全な学校をつくる活動をしたい」。生徒たちが抱いていた思いを行動に移したのは平成25年のこと。清水小学校でISS活動に取り組んだ生徒たちが自ら声を上げ、入学した陸合東中での活動がスタートしました。学校がある陸合南地区は、安心・安全な環境をつくるセーフコミュニティ活動を積極的に展開する地域でもあります。そうした意識が根付く地域の土壌も、ISS活動の開始を後押ししました。

真つ先に挙げたのは、けがの多さです。「いつ」「どこで」「誰が」「どんな」けがをしているのか、保健委員会を中心となりデータを収集しました。毎日欠かさずカウントしたところ、体育の授業や部活動など運動中の発生が多いことが分かりました。特に目立ったのが校内のランニングコース。生徒たちは、陥没箇所や凸凹になっている部分を調べて市に改善を提案し、補修を実現しました。



# 力を合わせて課題を解決 生徒がつくる安心・安全

陸合東中学校が、安心・安全な教育環境づくりに取り組む学校に与えられる「インターナショナルセーフスクール」(以下「ISS」)の認証を取得しました。活動の開始から2年。そこには、自分たちの学校をより安心・安全な学び舎にしようと、自ら考え、話し合い、課題を解決していく生徒たちの姿がありました。



取り組みが認められISSの認証を取得



地域の防災訓練に参加し消火器の扱いを学ぶ生徒

**地域ぐるみで取り組み**

生徒が地域の防災訓練に積極的に参加するなど、活動は校外にも広がりました。地域でも、小中学生の安全のため、住民や保護者などが学校と連携する「すこやかネットワーク会議」を組織して「防災の山村勝美さん(73・妻田北)は「防災訓練や美化清掃などの活動で大人と関わりを持つことで社会勉強をし、将来、地域の担い手として成長してほしい。そのためには地域全体で子どもたちを守り育てていきたい」と力を込めます。地域では、通学路に立つて登下校を見守る「愛の目運動」や地域内のパトロールなどを実施。学校周辺を見守るほか、防災訓練の積極的な受け入れなど、生徒の防災意識も高めています。登下校時の交通事故や不審者による犯罪被害をなくそうと、生徒と保護者が通学路を歩き、通学路の安全も点検。

**地域ぐるみで取り組み**

**学校全体で意識を共有**

一人一人により高い予防の意識を持つため、校舎内にはけがの発生状況や変化などのデータを掲示したほか、スポーツトレーナーを招いたウォームアップ・クールダウン研修会も開きました。取り組みの結果、昨年の1学期に63件発生していたけがが、ことしの1学期には32件にまで減少しました。保健委員長の井上千優さん(3年)は「廊下を走らないなど、日常のちょっとしたことに気を付けるようになりました。みんなの意識が高まったからだと思います」と笑顔で話します。

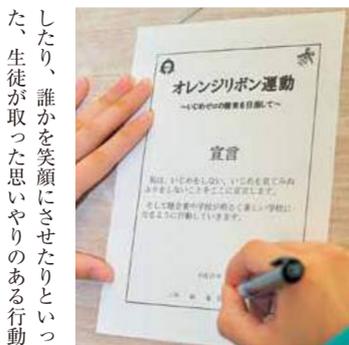
**学校全体で意識を共有**

**データを収集し改善**

一人一人により高い予防の意識を持つため、校舎内にはけがの発生状況や変化などのデータを掲示したほか、スポーツトレーナーを招いたウォームアップ・クールダウン研修会も開きました。取り組みの結果、昨年の1学期に63件発生していたけがが、ことしの1学期には32件にまで減少しました。保健委員長の井上千優さん(3年)は「廊下を走らないなど、日常のちょっとしたことに気を付けるようになりました。みんなの意識が高まったからだと思います」と笑顔で話します。

日々の活動を見守る教職員からは「生徒同士でお互いを見守るようになった」「暴力の現場を目にしたとき、報告に来る生徒が増えた」といった声が挙がるなど、いじめや暴力を許さないという雰囲気学校全体に広がっています。

したり、誰かを笑顔にさせたりといった、生徒が取った思いやりのある行動を紙に書いて花や実とし、一本の大きな木に張り付ける「いじめゼロの木」を作り上げました。



いじめをしないと言言

**ISS認証制度とは**

WHO(世界保健機関)が推奨するセーフコミュニティ認証センターが与える認証制度。けがや事故、いじめ、暴力を予防し、安心・安全な学校づくりを進める学校に与えられる。市内では、平成22年に清水小が全国で2番目になる認証を取得した。



**認証取得までの道のり**

- ① 認証取得に向けた取り組み宣言 → ② ISS活動の実施 → ③ 申請書の提出 → ④ 審査員による書類・現地審査 → ⑤ 認証取得

※認証には「課題を理解し、継続可能な活動をしているか」「活動の結果を客観的に評価し、次の活動へつなげているか」など八つの指標を満たすことが必要。

## 審査員の声

### 住民の参加と取り組みの継続が大切

国際セーフスクール 認証審査員 イ・チョンアさん(韓国)

現地審査で生徒の発表を聞いて、陸合東中学校が生徒たちを中心に、さまざまな課題に対し、熱心に取り組んでいる様子が伝わってきました。特に地域とPTAと学校が積極的に連携して活動に当たっているところが素晴らしいと感じました。セーフコミュニティは、他の地域と情報を共有し合い、共に学ぶことが必要です。これから生徒たちには自分たちの活動を他の小中学校や地域へ、そして世界へ発信してほしいと思います。そのため、どのような工夫でどういった結果が得られたのか、失敗も含めた取り組み一つ一つの過程を細かく記録し続けることが大切です。今後は具体的な事例を多く積み上げていってもらい、次回の再認証審査の時に、成果を見せてもらえることを楽しみにしています。

10月7日、いよいよISS認証審査員による現地審査の日を迎えました。生徒たちは、強い緊張を強いられながらも、これまでの取り組み一つ一つを堂々と報告しました。審査員への説明を終えた生徒には「安堵の表情が浮かんでいました。そして11月13日、認証取得の証であるフラッグが生徒の元へ届けられました。南波正志校長は「生徒たちに、地域活動やボランティアに参加して人の役に立ちたいという意識が芽生えている。活動を通じて「自ら考え、試行錯誤しながら解決を目指していく」という経験ができた成果だと感じる」と生徒たちの変化に目を細めます。フラッグを手にした綿貫創太さん(2年)は「誰かに指示されるのではなく、自分たちで考えて行動するのは大変でも大きくうれしかったです。これからも取り組みを続け、活動を学校の外へも広げて、まち全体で取り組めるようになりたいと思います」と笑顔で話しました。ISS認証までの道のりを、力を合わせて歩んできた生徒たち。その顔には、達成感と未来への

希望があふれていました。身周りの環境を安心・安全なものにするには、そこに暮らす人たちが課題の発見と解決のために協力し合うことが必要です。陸合東中学校の生徒たちは、仲間はもちろん、住民や保護者などさまざまな人々と力を合わせた大切さを学びました。私たちも生徒たちと同じくできれば、安心・安全な地域を自らの手でつくることにつながるのではないのでしょうか。 岡学校教育課 ☎2660



現地審査では、審査員への説明に熱がこもる

**認証の先へ続く歩み**

危険箇所のデータをまとめた「通学路安全マップ」を作成しました。



生徒と住民が壁画を描いて明るい雰囲気になった高架下



地域住民などが話し合い課題を抽出



各クラスで定期的実施されるいじめについての話し合い

# タウンガイド

12月							1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30
							31						

**マイタウンクラブ**  
 〇印の番号で、ウェブ上から詳しい情報をご覧いただけます。「〇印」と記されたものは、申し込みもできます。  
[www.mytownclub.com](http://www.mytownclub.com)

**Gポイント**  
 G印は、あゆこちゃんGENKIポイント「Gポイント」の対象事業です。数字分のポイントが付与されます。

**市制60周年記念事業**

### あつぎ青春劇場

①12月13日、14時～15時30分。唄う！青春劇場カラオケグランドチャンピオン大会（ゲスト・井上まり子、立花伸一、宮川たかし、椿はるな、浪ちひろ）。レンブラントホテル厚木（中町2-13-1）。定員150人。1000円。②12月26日、11時～12時30分。あつぎ青春劇場落語会（出演・柳家祿太）。アミューあつぎ9階。定員100人。500円。■当日直接会場へ。先着順。●商業にぎわい課 ☎225-2840。G1

### インターナショナルティーサロン

12月13日、14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。外国籍市民とのクリスマス会。日本語での会話も可。200円。■当日直接会場へ。●市民協働推進課 ☎225-2215。〇152504 G1

### ふれあいクリスマスコンサート!

12月12日、13時～。ふれあいプラザ（金田1156）。厚木北高校吹奏楽部によるコンサート。定員100人。無料。■当日直接会場へ。

●ふれあいプラザ ☎225-2081。

### 応急手当上級救命講習会

1月23日、9時～17時。睦合分署（三田1475-1）。心肺蘇生法、AEDの取り扱い方法、大出血時の止血法、傷病者の管理法などを学ぶ。市内在住在勤在学中で中学生以上の方30人。無料。■12月14日までに救急救命課 ☎223-9365へ。〇141757 G5

### 後期危険物取扱者保安講習会

1月29日。第1種（給油取扱所）=9時40分～12時40分。第3種（一般）=13時20分～16時20分。文化会館。危険物関係法令や災害予防対策、施設の安全管理などの講習。危険物取扱者免状を持ち、危険物を取り扱っている方各270人。4700円（県収入証紙代）。■消防本部や各分署などにある申請書に必要事項を書き、12月1日～1月7日（消印有効）に〒238-0011横須賀市米が浜通1-7-2-204県危険物安全協会 ☎826-2177へ。先着順。●予防課 ☎223-9369。G1

### 斎場施設見学会

12月14日、①10時30分～②13時30分～。斎場（下古沢548）。施設の見学と葬儀の説明。定員各回30人。無料。■12月1～13日までに市斎場 ☎281-8595へ。先着順。G1

### 環境と自然体験ツアー

12月20日、9時30分～16時30分。横浜地方法務局厚木支局集合。バスで巡る大規模太陽光発電所と七沢自然ふれあいセンター。レクリエーションを通じて、環境と自然の大切さを学ぶ。市内在住在学の小学生と保護者140人。無料。■市ホームページからダウンロードした申込用紙に必要事項を書き、12月8日（必着）までに郵送またはファクスで〒105-6135東京都港区浜松町2-4-1世界貿易センタービルオリックス（株）グループ総務部財団事務局 ☎03-3435-3126・☎03-3435-3158へ。抽選。●環境政策課 ☎225-2746。

### 植物鑑定団 in あつぎ

12月16日、13時30分～15時30分。郷土資料館。撮影した野生植物の名前や生態などを専門家が鑑定。無料。■当日直接会場へ。希望者多数の場合は、鑑定枚数を限定する場合があります。●郷土資料館 ☎225-2515。〇152454 G1

### 植物講演会

12月13日、13時30分～15時30分。郷土資料館。外来植物の現状や最新の調査研究を紹介。定員30人。無料。■当日直接会場へ。先着順。●郷土資料館 ☎225-2515。〇152453 G1

### 物忘れ予防・脳いきいき教室～室内編～

1月7日～3月3日の毎週木曜（2月11日除く、全8回）、14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。軽運動を取り入れた認知症予防。市内在住で65歳以上の方25人（要介護認定の方を除く）。無料。■直接、電話またはハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、12月14日（必着）までに〒243-8511健康長寿課 ☎

225-2388・☎221-1640へ。抽選。〇152497 G1

### 物忘れ予防・脳いきいき教室～おでかけプログラム～

1月5日～2月23日の毎週火曜（全8回）。10時～12時。あつぎ市民交流プラザ。ウォーキングを取り入れた認知症予防。市内在住で65歳以上の方25人（要介護認定者を除く）。無料。■直接または電話、ハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、12月14日（必着）までに〒243-8511健康長寿課 ☎225-2388・☎221-1640へ。抽選。〇152498 G1

### 荻野運動公園第3期水泳教室

《日時》①～③1月6日～3月9日の水曜（全10回）④1月8日～3月18日の金曜（全10回）⑤～⑨1月9日～3月19日の土曜（全10回）。①10時30分～11時20分②15時30分～16時20分③16時30分～17時20分④10時30分～11時20分⑤10時30分～11時20分⑥11時30分～12時20分⑦13時30分～14時20分⑧14時30分～15時20分⑨15時30分～16時20分。《会場》荻野運動公園（中荻野1500）《対象》①・④高校生以上（④のみ水中ウォーキング）、②・⑤・⑥4～6歳未就学児、③・⑦～⑨小学生《定員》①・②・④～⑥15人、③・⑦～⑨20人《料金》①7000円。②～⑤5000円■12月20日までに荻野運動公園 ☎225-2689へ。抽選。〇152530②152532③152535④152537⑤152538⑥152539⑦152540⑧152542⑨152543

### 体育協会のスポーツ教室

■ジュニアバドミントン教室  
 1月16・23・30、2月13・20日（全5回）。13時30分～15時30分。東町スポーツセンター。市内在住の小中学生40人。2000円。〇152518  
 ■初心者空手道教室  
 1月17・24・31日（全3回）、10時～11時30分。東町スポーツセンター。市内在住在勤在学の小学生以上の方20人。800円。〇152519  
 いずれも基礎技術の講習。■ハガキ、ファクスに教室名、〒住所、

## 街の話題

### 「広報あつぎ」や広報番組「あつぎ元気Wave」を平和学習に活用

睦中ピースプロジェクト～平和へのメッセージを語り継ぐ～を開催

広報あつぎや広報番組を活用した平和学習が11月6日、睦合中学校で実施されました。1・2年生313人が、戦争経験者の話から戦争の悲惨さと平和の尊さを考えました。

授業は、8月1日発行の広報あつぎで特集した、戦争経験者と中学生が意見を交わす座談会を基に展開されました。生徒たちは広報紙を読み、広報番組を視聴した後、座談会に出席していた杉山潔さん（92・戸田）を迎え、青春時代の生活や戦場でつらかったことなどを聞きました。杉山さんは「平和を維持していくため、今はいろいろなことを勉強してください」と訴えていました。

広報あつぎなどを使った平和学習は、玉川中でも実施されています。自分が住む地域の記憶に触れることで、戦争をより身近に捉え、考えるきっかけにつながっています。

杉山さんが、生徒たちに平和の尊さを訴えた

## ～整骨院・接骨院のかかり方に注意～

### 健康保険を適切に使用しましょう

整骨院・接骨院で、柔道整復師から施術を受けた場合、健康保険が適用される範囲は限られています。以下の点に注意して、施術を受けましょう。

**【適用される場合】**  
 打撲、捻挫、挫傷、骨折、不全骨折（ひび）、脱臼  
 ※工作中や通勤途中の負傷は、労災保険が適用されます。

**【適用されない場合】**  
 単なる肩凝り、筋肉疲労、マッサージ代わりの利用、病気（神経痛、リウマチ、関節炎、ヘルニアなど）からくる痛み、脳疾患後遺症などの慢性病、症状の改善が見られない長期の治療（腰痛などの慢性疾患）など

●療養費の支給を申請する場合は、内容をよく確認し本人が署名してください。  
 ●申請内容によっては、電話や文書で施術内容を確認することもあるので、領収書は必ず保管してください。

☎国保年金課 ☎225-2120

氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号を書き、12月15日(必着)までに〒243-0039温水西1-27-1市体育協会 ☎247-7212・☎248-7151へ。抽選。

スポーツ全国大会などの出場者情報を募集

平成27年中の全国・国際大会に、県または日本代表として出場(予選会を通過、推薦など)した市民・市内のクラブ・学校・事業所の情報を募集します。東町・猿ヶ島・南毛利スポーツセンター、及川球技場にある報告書(市体育協会ホームページからダウンロード可)に必要な事項を書き、大会の詳細が分かる資料と予選会の結果、推薦書などを添えて、郵送またはファクス、Eメールで、1月8日(必着)までに〒243-0039温水西1-27-1市体育協会 ☎247-7212・☎248-7151・e-mail=info@atsugi-taikyo.or.jpへ。

話し方講座～話力を身につけ、職場で地域で実力発揮～

1月23日、10時～16時。あつぎ市民交流プラザ。仕事や家庭、地域などで自分の思いや意見を上手に話す能力と聞く能力を身に付ける。市内在住在勤在学の方30人。無料。託児あり(1歳～小学3年生。要予約)。直接、電話またはハガキに〒住所、氏名、電話番号、託児の有無を書き、1月7日(必着)までに〒243-8511市民協働推進課 ☎225-2215へ。抽選。 ☎152478 ㊟1

市封筒の広告主を募集

法人市民税申告奨励用封筒に広告を掲載する広告主を募集します。《発送予定数》約8000通(申告対象事業者)《募集期間》12月1日～28日。☎市民税課 ☎225-2012。

社会保険料の控除対象保険料額の通知

平成27年中に納めた①国民健康保険料②後期高齢者医療保険料③介護保険料は、所得税や市・県民税の申告時に社会保険料控除の対象となります(対象者には1月中旬にハガキを送付)。☎①国保年

金課 ☎225-2123②☎225-2223③介護保険課 ☎225-2393。

ひとり親家庭に修学資金などを貸し付け

4月に高校、短大、大学、専門学校などに進学予定の子どもを養育する母子・父子・寡婦家庭に、就学支度・修学資金を貸し付けています《金額》下の表の額内で必要と認められる額。☎電話でことも家庭課 ☎225-2241へ。審査の上、申請の翌月末に決定。

Table with 4 columns: 区分, 就学支度, 修学(月額), 高校(公立/私立), 私立短大・専門学校, 私立大学

第15回「あつぎ2016元旦マラソン」参加者募集

1月1日、9時30分～(受け付けは8時30分から)。東京工芸大(飯山1583)周辺道路。小学生1.5キロ、中学生3キロ、一般(高校生以上)5キロ。200円(保険料含む)。☎当日直接会場へ。☎あつぎ元旦マラソン実行委員会・中村 ☎080-1051-3962。

みんなの声でつくるまち

《パブリックコメント》特別業務地区建築条例の一部改正《閲覧期間》12月1日～1月4日《閲覧場所》都市計画課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、市ホームページ《応募資格》市内在住在勤在学の方、市内で活動する個人・法人・団体《応募方法》閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで〒243-8511都市計画課 ☎225-2401・☎222-8792・e-mail=4600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

11月15日発行の広報あつぎ3面の記事に一部誤りがありました。「ニューイヤーコンサート」の申し込み先は、文化会館 ☎224-9999 または小川 ☎090-3591-0568です。

あつぎ市民ふれあい都市フォーラム ～地域福祉推進大会～

1986年開催のサッカーW杯メキシコ大会で実況デビューを飾り、以後、多くのスポーツ実況などで活躍している山本浩さんを講師に、身近な人との「ふれあい」の大切さについて考えます。



プロフィール 昭和28年4月12日生まれ。元NHKアナウンサー、解説委員。現法政大学スポーツ健康学部教授。

《日時》1月30日 13時30分～15時30分 《会場》文化会館 《対象》市内在住在勤在学の方376人(当日は手話通訳があります)

☎直接、電話またはハガキ、ファクスに講座名、〒住所、氏名、電話番号、託児(1歳～小学3年生)の有無を書き、1月7日(必着)までに〒243-8511市民協働推進課 ☎225-4612へ。抽選。 ㊟1

☎市民協働推進課 ☎225-2141

あつぎ 元気Wave

12月の広報番組ガイド

ケーブルテレビ あゆチャンネル(11ch) 放送時間(15分)

12月1日～15日 ◆広がる安心・安全なまちづくり ISSの認証を取得した睦合東中の取り組みなどを紹介 ①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容や時間を変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

秋の叙勲・褒章

秋の叙勲・褒章が発表されました。市内で受章された皆さんを紹介いたします。おめでとうございます。

叙勲



瑞宝小綬章 林 正行さん (71・下荻野) 議院警察功労=元衆議院参事



瑞宝双光章 澤谷 與司隆さん (65・戸室) 消防功労=元東京消防庁消防正監



瑞宝双光章 三武 健太郎さん (73・田村町) 更生保護功労=現保護司



瑞宝双光章 三橋 政行さん (68・七沢) 消防功労=元伊勢原市消防監



瑞宝双光章 横森 則彦さん (71・栄町) 警察功労=元神奈川県警部



瑞宝单光章 石井 三郎さん (68・温水西) 防衛功労=元准陸尉



瑞宝单光章 碓井 勉さん (71・山際) 警察功労=元神奈川県警部補



瑞宝单光章 太田 武子さん (80・緑ヶ丘) 統計調査功労=元各種統計調査員



瑞宝单光章 川村 せつ子さん (75・まつかげ台) 統計調査功労=元各種統計調査員



瑞宝单光章 山口 善宏さん (63・戸田) 鉄道業務功労=元小田急電鉄株式会社電気司令所長



瑞宝单光章 横谷 正春さん (72・恩名) 消防功労=元厚木市消防司令長

以上の皆さんに加え、瑞宝双光章に2人、瑞宝单光章に1人が受章されました。

褒章



黄綬褒章 堀 純さん (74・中町) 業務精励(理容師、卓越技能)=現ヘアサロンホリ経営



藍綬褒章 小宮 和子さん (75・関口) 社会福祉功労=元民生委員児童委員

あつぎ健康相談ダイヤル24

☎発信者番号は通知設定でおかけください

さわやか1番 よいところ ☎0120-31-4156

フリーダイヤル(無料) 受付時間/24時間・年中無休

◆相談内容: 健康、医療、介護、育児、メンタルヘルス ◆医療機関情報の提供 ※医療機関を受診すべきか迷ったら、まず電話でご相談を

# Atsugi Brilliant Story 2015

アツギ ブリリアント ストーリー

2月14日まで 17時～23時  
(12月23～25日は25時まで)

点灯期間

Atsugi Brilliant Story 2015

市制60周年記念事業

ことしも、本厚木駅前を彩るイルミネーションを設置しました。デザインは、「あつぎ鮎まつり」で打ち上げられるスターメインやニアガラなどをイメージ。ピンクやパープル、ゴールドの光が輝き、にっこり笑ったあゆこちゃんと共に市制60周年のお祝いムードを演出しています。

装飾にはLED電球を使用。風力や太陽光などの再生可能エネルギーから生まれたグリーン電力を使い、環境にも配慮しています。市街地の夜を彩る幻想的な光を、ぜひお楽しみください。

閩商業にぎわい課 ☎225-2840

撮影：市民リポーター大坪政文さん



平成25年のパレードの様子

## 年末の交通事故に気を付けましょう

12月11～20日は  
交通事故防止運動を展開

12月は交通量が増え、事故が多発します。一人一人が交通ルールやマナーを守り、無事故で新年を迎えましょう。

### 市民総ぐるみ大会

- 日時** 12月12日 13時30分～
- 場所** 日立オートモティブシステムズ株式会社厚木事業所(恩名4-7-1)
- 内容** 交通安全功労者などの表彰、千葉大学名誉教授による「交通安全」がテーマの講演
- ☎当日直接会場へ。無料。

### 交通事故防止パレード

- 日時** 12月19日 13時30分～(雨天中止)
- コース** 厚木中央公園～あつぎ大通り～本厚木駅前～厚木一番街通り～厚木中央公園
- ゲスト** 県警察音楽隊、ブレイブボードのギネス世界記録を達成した小鮎中の生徒

閩くらし交通安全課 ☎225-2760

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)相鉄エージェンシー ☎045-450-1804へ。